

Excel 2002,2003基本12

情報関数

情報関数とは

- 情報の取得をする関数：4種類
- IS関数：11種類。IF関数などと組み合わせて
- データ変換やエラーを発生させる関数：3種類

● 講習会フォルダの「08情報関数.xls」を開いてください。

情報の取得をする関数

- CELL関数

- セルの書式、位置、内容についての情報を返す

- ERROR.TYPE関数

- エラーの種類に対応する数値を返す

- INFO関数

- 現在の操作環境についての情報を返す

- TYPE関数

- データ型を表す数値を返す

- 「08情報関数.xls」の対応シートを開いて確認してください。

IS関数: 値や参照のタイプを調べる

関数名	機能
ISBLANK関数	対象が空白セルを参照するときに TRUE を返します。
ISERR関数	対象が #N/A 以外のエラー値のときに TRUE を返します。
ISERROR関数	対象が任意のエラー値のときに TRUE を返します。
ISLOGICAL関数	対象が論理値のときに TRUE を返します。
ISNA関数	対象がエラー値 #N/A のときに TRUE を返します。
ISNONTEXT関数	対象が文字列以外のときに TRUE を返します。
ISNUMBER関数	対象が数値のときに TRUE を返します。
ISREF関数	対象がセル参照のときに TRUE を返します。
ISTEXT関数	対象が文字列のときに TRUE を返します。
ISEVEN関数	数値が偶数のときに TRUE を返します。分析ツールアドイン
ISODD関数	数値が奇数のときに TRUE を返します。分析ツールアドイン

データ変換やエラーの発生

- N関数

- 指定された値を数値に変換する

- NA関数

- エラー値 #N/A を返す

- PHONETIC関数 (phoneticは「音声を表す」の意)

- ふりがなの文字列を取り出す

● 練習 講習会フォルダの「08情報関数.xls」の「PHONETIC関数」シートを開いてください。

エラーを表示させない数式1

	A	B	C	D	E
1		エラーを表示させない方法1			
2					
3		割られる数	割る数	結果	数式
4		10	3	3.33333333	=B4/C4
5		11	4	2.75	=B5/C5
6		12	5	2.4	=B6/C6
7		13		#DIV/0!	=B7/C7
8		14			=IF(ISBLANK(C8),"",B8/C8)
9		15			

セルが空白の場合
エラーが表示される

- 練習 講習会フォルダの「エラーを表示させない数式練習.xls」を開き、シート「エラー非表示1」の練習をしてください。

エラーを表示させない数式2

	A	B	C	D	E
1	エラーを表示させない方法2				
2					
3		割られる数	割る数	結果	数式
4		10	3	3.333333333	=B4/C4
5		11	4	2.75	=B5/C5
6		12	5	2.4	=B6/C6
7		13		#DIV/0!	=B7/C7
8		14	0	#DIV/0!	=IF(ISBLANK(C8),"",B8/C8)
9		15	0		=IF(OR(ISBLANK(C9),C9=0),"",B9/C9)
10		16			

セルに「0ゼロ」が
入力されている場合
エラーが表示される

- 練習 講習会フォルダの「エラーを表示させない数式練習.xls」を開き、シート「エラー非表示2」の練習をしてください。

エラーを表示させない数式3

	A	B	C	D	E
1	エラーを表示させない方法3				
2					
3		割られる数	割る数	結果	数式
4		10	3	3.33333333	=B4/C4
5		11	4	2.75	=B5/C5
6		12	5	2.4	=B6/C6
7		13		#DIV/0!	=B7/C7
8		14	0	#DIV/0!	=IF(ISBLANK(C8),"",B8/C8)
9		15	0		=IF(OR(ISBLANK(C9),C9=0),"",B9/C9)
10		16	文字列	#VALUE!	=IF(OR(ISBLANK(C10),C10=0),"",B10/C10)
11		17	文字列		=IF(OR(ISBLANK(C11),C11=0,ISTEXT(C11)),"",B11/C11)
12		18			

セルに文字列(空白文字も含む)が入力されている場合エラーが表示される

- 練習 講習会フォルダの「エラーを表示させない数式練習.xls」を開き、シート「エラー非表示3」の練習をしてください。

エラーを表示させない数式3

	A	B	C	D	E
1	エラーを表示させない方法4				
2					
3		割られる数	割る数	結果	数式
4		10	3	3.33333333	=IF(AND(ISNUMBER(C4),C4>0),B4/C4,"")
5		11			=IF(AND(ISNUMBER(C5),C5>0),B5/C5,"")
6		12	0		=IF(AND(ISNUMBER(C6),C6>0),B6/C6,"")
7		16	文字列		=IF(AND(ISNUMBER(C7),C7>0),B7/C7,"")
8		18			

数式を簡素化してエラーを表示させない

- 練習 講習会フォルダの「エラーを表示させない数式練習.xls」を開き、シート「エラー非表示4」の練習をしてください。

エラーを表示させない数式の練習

	A	B	C	D	E	F
4						
5			予算	単価	購入数量	余り
6		玉ねぎ	1,000	18	55	10
7		ジャガイモ	1,500	21	71	9
8		きのこ	2,000	35	57	5
9		にんじん	3,500	27	129	17
10		ワイン	5,000	0	#DIV/0!	#DIV/0!
11		牛肉	7,000	時価	#VALUE!	#VALUE!



	A	B	C	D	E	F
4						
5			予算	単価	購入数量	余り
6		玉ねぎ	1,000	18	55	10
7		ジャガイモ	1,500	21	71	9
8		きのこ	2,000	35	57	5
9		にんじん	3,500	27	129	17
10		ワイン	5,000	0		
11		牛肉	7,000	時価		

セルE6からE11までは、整数商を計算するQUOTIENT関数を使った数式が入力されています。

セルE10の数式は、

=QUOTIENT(C10,D10) です。

セルF6からF11までは、割り算の剰余を求めるMOD関数を使った数式が入力されています。

セルF10の数式は、

=MOD(C10,D10) です。

D列の値が正の整数以外の時にエラーが表示されないよう数式を修正して下さい。

- 練習 講習会フォルダの「エラーを表示させない数式練習.xls」を開き、練習問題をしてください。